



2010.6.5

No. 197

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 村田 仁

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

苦小牧市長選
候補予定者

沖田清志

おき

た

きよ

し

連合北海道は、
沖田清志さんを推薦します。



連合北海道は第8回執行委員会で、6月27日に実施されます苦小牧市長選挙の候補予定者として「沖田清志」さんの推薦を決定いたしました。

組合員の皆さんは、苦小牧にお住まいの知友人をご紹介下さい。

苦小牧市長
選挙日程

告示 6月20日
投票 6月27日

沖田清志プロフィール

1964年1月15日生まれ、46歳。

苦小牧市立若草小学校、東中学校、苦小牧南高校卒業後、82年苦小牧市役所に勤務。

99年苦小牧市議会議員に当時最年少で初当選。3期11年。

家族は美香夫人と、高校生の長男。

自治のかたちを再構築し、 行政機能の最適化を図ります！

- 「苫小牧版事業仕分け」を実施し、無駄をはぶきます。
- 特殊勤務手当の廃止をはじめ、給与体系見直しによる総人件費の抑制を行います。
- 職員の専門性を高めながら、定数の削減を行います。
- スポーツ文化施設の効率的な管理・運営を進めます。

市民との協働で、 自立した市役所をつくります！

- 「オンブズマン制度」を導入し、チェック機能を強化します。
- 国・道などへ積極的な政策提言を行い、地域主権を確立します。
- 1市4町による広域行政・連携を進めます。
- 子ども議会・女性議会の定例化など、身近な市役所づくりといっそうの市民参画を図ります。

疲弊する地域を建て直し、 元気を取り戻します！

- 中小企業支援策や雇用対策を強化し、地域経済を活性化させます。
- パスポート窓口移転や公共施設移転を検討し、中心市街地活性化を図ります。
- インターチェンジは、市単独での設置はしません。
- イベント等への支援を行い、まちの活性化につなげます。

暮らしに安心・安全・健康の 土台を築きます！

- こども(乳幼児・ひとり親)医療費無料化を小学3年生までに拡大します。
- 障がい者や高齢者にやさしいまちづくりを進めます。
- ごみ有料化は、当面実施しません。
- 緑ヶ丘球場にナイター設備を設置するなど、スポーツ振興に努めます。



もっと語るって、私たちのふるさと。
一緒につくろうって、これからの苫小牧。

地域政策重視の提言めざして 第2回政策委員会を開催

政権交代後、初となる2011年度政府予算への「要求と提言」策定に向けた方針を提起する第2回政策委員会が4月21日、開催された。当日は、愛知東邦大学・御園教授の講演会も含め政策委員ら50名が出席。2011年度政府予算に関する「要求と提言」（原案）が示されたほか、2011年度道予算については、「道政検証」にもとづき「道予算編成に向けた提言」をまとめるとの考え方が確認された。

■地域政策をより重視した「要求と提言」へ

民主党政権が誕生したことで、政府と連合との政策協議の形は従来と大きく変わった。連合本部は、4月15日の中央執行委員会で「2011年度重点政策」を確認し、6月の「予算編成の基本方針」など政府の重要政策への反映をめざして政府との協議に入っている。

一方、連合北海道の2011年度政府予算への「要求と提言」は、本部の2011年度重点政策との重複をできるだけ避け、地域・地方の重点的な政策課題に絞り込む考え方と



した。「地域主権」を掲げる民主党政権のもとで、地域政策を重視した発想が今後、より必要とされる。

また、道政においても地域といかに協力・協働するかという姿勢が問われる。中央指向に終始する現知事の政策を、勤労道民や地域住民の視点から検証し、「2011年度道予算の編成に関する提言」としてまとめていく。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2010042101_policy.html

ユニオンアカデミー in 函館 ユニオンスクール渡島第2回学習会を開催

連合北海道・ユニオンアカデミーのモデル地域として位置づけられた「ユニオンスクール渡島第2回学習会」が、5月21日(土)13:00より、函館市新川町・パークホテルにおいて開催された。

2月に行われた第1回(開校式)学習会での『楽しく学ぶ』を基本とした工夫された学習が受け入れられたのか、今回の学習会は欠席受講生も少なく、ほぼ全員に近い受講生が参加し、更なる学習と研鑽を積み重ねた。

皆川連合北海道組織対策局長の「アイスブレイク」



(固い雰囲気を開きほぐす行為)で幕を開けた学習会は、全体が和んだところでグループによる自己紹介が行われ、会場の雰囲気は一気にひとつになったところで授業開始が行われた。

今回設定したテーマは「疑問の解消」。

開催事前に行った「日頃の疑問・活動上での疑問・生活上での疑問・労働組合への疑問等々」のアンケートに基づく意見交換と解明を前提に進められた。

斎藤連合北海道組織対策局長・皆川同次長の両講師から「こんな問題どうします?」「そうだったのか～労働組合の組織運営」、「教えて!労働組合と政治活動」、更には「労働組合の会計と会計監査」と題して、様々な例題を取り上げながら進められた。

とりわけ、「労働組合と政治活動」については、最近の課題として社会的問題ともなっている政治資金・公職選挙法に関わる課題についても触れ、運動として後退・停滞させてはいけないことも提起がなされた。

最後の質疑では、非正規労働者の組織化の難しさ、会社経営の厳しい環境の中での労働組合の存在等々の意見も出され、全体で認識を一致させつつ今後も時間をかけ

て論議をして行くことで認識を一致させた。

閉会にあたり連合渡島地協からは、労働相談の多くは非正規労働者であり、非正規労働者の組織化は大きな課題であることと合わせ、第3回学習会(兼・閉校式)では、団体交渉の進め方をテーマに模擬団体交渉を企画し、実践方式で学び合うことを提起し、8月の再開を約束して

終了した。

今回は、グループ討論より座学中心の学習会となりましたが、一つ一つの課題が自らの疑問であったことも幸いし、真剣な中での4時間となった。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2010052101_u-academy.html

北海道教育委員会の「情報提供制度」導入に関する談話

事務局長 村田 仁

1. 北海道教育委員会は5月26日、教職員に禁止されている政治行為や学習指導要領の逸脱があった場合、保護者や同僚から情報提供を求める制度の導入を決めたとする報道がなされた。まったくの驚きであり、教育行政の責任を放棄する決定と言わざるを得ない。
2. 道教委は、情報提供制度を導入する目的として、学校教育への信頼を確保することを掲げている。しかし、教職員と道教委および現場の管理者との信頼関係が築かれることなく、保護者や同僚を巻き込んで制度を導入することは、道教委自らの管理責任努力を棚に上げて、管理規則だけをふりかざすことになり、ますます保護者・道民の信頼を損なう対応であると指摘せざるを得ない。
3. まして、個人的な誹謗・中傷を引き起こす誘因となり、平穏な学校教育現場を混乱させることにしかならない。「情報提供」が、悪意によって行われたり、伝聞によって歪曲して伝えられることになれば、人権に関わる問題である。
4. 教育とは読んで字の如く、「教え」「育む」ものと解釈さ

れ、またそれによって社会の維持・発展をめざす活動である。道教委はその基本的な理念を忘れていてのではないか。

学校は地域住民や保護者によって支えられているのであり、規則で管理統制を強め、教職員を萎縮させてしまうことは、地域から信頼の得られる学校教育を実現することはできない。

5. 情報提供制度の導入は、選挙違反事件に便乗して、教育委員会が学校現場における管理強化をはかり、正当な組合活動を妨げようとするものである。労使ともに法令を遵守することは言うまでもないが、学校現場における職務や労働組合活動のあり方は、労使が対等な立場で協議すべきものである。連合北海道は、民主的な教育を実現するよう、今後も取り組みを強めていく。

以 上

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2010052701_dokyou_info.html



6月の主な動き

イベントカレンダー

■第2回地方連合代表者会議

1日(火) 14:00/総評会館

■第57回中央委員会

2日(水) 10:00/ホテルラングウッド

■組織財政特別委員会小委員会

4日(金) 15:00/連合北海道会議室

■男女雇用均等法集会

5日(土) 13:30/自治労会館

■第9回執行委員会

17日(水) 10:30/札幌グランドホテル

■第42回地方委員会

17日(水) 13:00/札幌グランドホテル

■第8回地協事務局長会議

17日(水) 14:30/ポールスター札幌

■平和inおきなわ

23日(水)～24日(木)/沖縄

■全道勤労者総合文化祭

30日(水)～7月4日(日)/札幌市民ギャラリー

連合北海道が推薦します

第22回参議院議員選挙
北海道選挙区候補予定者

藤川まさし



「藤川まさし」さんは、精力的に地方へ出向いています。今後の日程は下記のとおりですので、組合員の皆さまは、地元での集会に積極的に参加するようお願いいたします。また、6月17日には総決起集会を札幌で行います。

■「藤川まさし」地域訪問日程

5月31日(月)～6月1日(火)胆振
6月 4日(金) 奥尻島
6月 7日(月)～9日(水) 石狩

■総決起集会

6月17日(木)於札幌

※土・日曜日は札幌で街頭宣伝を行います。